

- 当社は、計画初年度では、2023年1月以降に、工場の使用電力を、再生可能エネルギー由来のCO2フリー電気「かがやきGREENピュア」に切り替えることで、CO2の削減を図ります。
- 従来よりも消費エネルギーを抑えた生産設備や空調機器を導入し、医薬品、健康食品等の製造に伴って排出されるCO2を抑制し、生産ラインの炭素生産性を向上させます。
- これにより、製品の製造時に排出されるCO2を減少させていくことで、付加価値の創出と環境への負担低減を図ります。

## 1. 事業適応計画の実施期間

2023年5月～2023年12月

## 2. 生産性向上目標・新需要開拓目標

炭素生産性を34.1%以上向上することを目標とする。

## 3. 前向きな取組の内容

- 再生可能エネルギー由来のCO2フリー電気を使用し温室効果ガスの削減施策を実行します。
- 医薬品・健康食品の生産ラインにおいて、省エネ性能に優れた空調設備を導入するとともに、EMSシステムによる集中管理により、製造時に排出されるCO2排出量を削減し炭素生産性の向上を図ります。

## 4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

＜富山小林製薬 事業所全体＞



＜空調設備を導入する工場の外観＞

